

## I. 広東省

### 1. 反腐敗にかかる処分

●2日、広東省紀律検査委員会は李沢中・珠海市長を重大な紀律違反の疑いで調査中と発表（9月3日付『南方日報』）。

### 2. 珠江西岸先進設備製造産業ベルト建設関連

●28日午前、仏山市で第3回珠江西岸先進製造業投資貿易商談会が開催され、胡春華・省党書記が開幕式に出席するとともにブースを見学。苗圩・工業・情報化部長、李曉紅・中国工程院党組織書記、馬興瑞・省長も開幕式に出席し、挨拶を行なった。2014年8月、工業・情報化部と省政府が協力協定に署名し、部と省の協力という強みを十分に発揮することを決定した。双方は政策がリードする支援を強化しながら、珠江西岸先進設備製造産業ベルトを発展させていくよう共に推進し、国内をリードし国際競争力を備えた先進設備の製造拠点を構築するために励んできた。2016年、同産業ベルトの付加価値額は省全体における一定規模以上工業付加価値額の成長率を上回り、全省設備製造業に占める割合も39.1%に達した。2015年～2017年の同製造業への投資額も年平均31%増となる見込み（8月29日付『南方日報』）。

●28日午後、仏山市で胡春華・省党書記主宰の珠江西岸先進設備製造産業ベルト建設ならびに工業技術改善のための投資に関する全省業務会議が開催され、次のように強調した。習近平・総書記による政治運営の新理念・新思想・新戦略及び広東省に対する重要指示の精神を深く貫徹し、製造業を供給構造改革の主戦場として堅持し、同産業ベルトの建設と省全体の工業技術の改善にかかる業務に根気強くしっかりと取り組み、「中国製造2025」の国レベルのモデル地区を構築するよう励まなければならない。馬興瑞・省長も会議に出席するとともに講話を行なった（8月29日付『南方日報』）。

### 3. 馬興瑞・省長が陽江市、茂名市を視察

●29日、馬興瑞・省長が陽江市、茂名市重点プロジェクト（海濱新城、沿岸高速道路、海上風力発電等）と都市新区の建設状況を視察（8月30日付『南方日報』）。

●29日午前、陽江市海陵島にある広東海のシルクロード博物館で、広東省初の4K超画質ドキュメンタリー映画となる「通海夷道——シルクロード上の嶺南文化」の撮影が始まり、馬興瑞・省長がクランクイン式典に出席。これは広東テレビ局珠江チャンネルと深圳宝鷹建設集団の共同制作によるもので、主に「海のシルクロード」上の嶺南文化を切込み口として、広州を出発し、ベトナム、ミャンマー、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、スリランカといった国々を尋ねていくドキュメンタリー映画となる。2018年末に完成する見込みで、2019年の第2回「一帯一路」国際協力サミット開会前に放映予定（8月31日付『南方日報』）。

### 4. 広東省と中欧・中央アジアを結ぶ貨物列車の輸出額は約6億米ドル

●29日、省港湾弁公室は2016年～本年上半期までに中欧・中央アジア貨物列車が195本運行され、コンテナ数は9726TEU、輸出額は5.81億米ドルだったと発表。28日、広東・香港・マカオ・ベイエリアと「一帯一路」沿線国の貿易・輸送の連結を強化するため、省政府港湾弁公室、広州鉄道集团公司、省広物ホールディングス等が合同で「省中欧・中央アジア貨物列車支援政策枠組み協定」に署名（8月30日付『南方日報』）。

### 5. 全面的に厳格な党統治を推進するための研修クラスが開講

●30日午前、広東省が全面的に厳格な党統治を深く推進するための研修クラス、ならびに第16期指導幹部党紀・政紀・法紀教育特別研修クラスが開講し、胡春華・省党書記が開講式に出席するとともに、動員のための講話を行なった（8月31日付『南方日報』）。

### 6. 『人民日報』が第19回党大会を迎えるための特別報道（広東編）を掲載

●30日付の『人民日報』は「互いに励まし合い、奮闘した5年・第19回党大会を迎えるための特別報道・広東編」という特別報道記事を8頁にわたり掲載した。同報道には「イノベーションによる発展戦略の実施を堅持した」と題する胡春華・省党書記の署名入り文章が初めに掲載され、「4つの自信」を固め、新たな局面を作り出していくよう励む」と題する馬興瑞・省長へのインタビューも掲載されている（8月31日付『南方日報』）。

## 7. 2017 広東知的財産権交易博覧会が開幕

●8月31日、広州市で上記交易博覧会が開幕し、馬興瑞・省長が開幕式に出席するとともにブースを見学。黄寧生・副省長、賀化・国家知的財産権局副局长、陳宏兵・世界知的所有権機関中国事務所主任が開幕式に出席し、挨拶を行なった（9月1日付『南方日報』）。

●8月31日～9月1日にかけて開催された上記交易博覧会では107のブースが設けられ、そのうち「海のシルクロード知的財産権ブース」にはロシア、フランス、日本、韓国、リトアニア等18の国と地域が出展した。同交易博覧会の成約総額は7.2億元、特許数は1301件だった（9月2日付『南方日報』）

## 8. 王栄・省政協主席が次期広東公共外交協会会長に当選

●8月31日午前、呉偉鵬・省政協秘書長主宰の第2期広東公共外交協会会員大会が開催され、王栄・省政協主席が出席するとともに講話を行なった。同大会では次期理事会会長、副会長、秘書長、常務理事、理事党の選挙が行われ、王栄・省政協主席が次期会長に当選した（9月1日付『南方日報』）。

## 9. 東莞市松山湖のハイテク産業開発管理委員会と南方電網の東莞支局が戦略的提携

●8月30日、東莞松山湖（エコパーク）ハイテク産業開発管理委員会と南方電網広東東莞電力供給局が「東莞松山湖が国際的かつ一流の総合エネルギー・モデル地区を構築するための戦略的協力枠組み協定」に署名。双方はスマート・エネルギー・システムの構築で協力し、電力供給の信頼度を99.999%へ高めていくこととなった（9月1日付『南方日報』）。

## 10. 省党常務委員会議の開催

●9月1日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、第19回党大会開催前の関連業務について検討・手配。また、同会議では東西貧困救済協力経験交流会の精神も伝達・学習し、更に「安全な生産分野における改革・発展を推進するための省党・省政府の実施意見」について審議し採択（9月2日付『南方日報』）。

## 11. 原子力関連

●8月28日、東莞市の中国CSNS（核破砕中性子源）建設プロジェクトで、初めて射出に成功した。このことは同プロジェクトの工事が順調に完了し、試運転の段階に入ったことを示している（9月2日付『南方日報』）。

※CSNSは東莞市大朗鎮で進められてきた第11次5か年計画（2006年～2010年）の重点大型科学プロジェクト。完成すれば、途上国初の核破砕中性子源、世界では米・英・日に次いで第4番目のパルス核破砕中性子源となる。これにより中国の素材・生命・ナノ科学分野の研究・技術水準が大幅に向上することになる。なお、年間被曝量は飛行機1回搭乗程度とされ、周辺には放射線監視ステーションが設置され、事故時の緊急マニュアルも定められている。核破砕中性子は核物質を使用しないため、万一事故が起きた場合、電力を切れば、主な放射は直ちに停止する仕組みになっている。

●8月31日、広東省衛生応急技能コンテストが開幕し、広州・深圳代表チームが団体部門で優勝。会場では放射線非常用センターの「人体洗浄車」が注目を浴びた。広東省ではこの全国初となる移動式放射線非常用センターの建設を計画しており、総額2500万円を投じて、来年末には建設される見込み（9月3日付『南方日報』）。

## 12. 省公安庁が広東・香港・マカオ・ベイエリア建設・発展に関する視察・座談会を開催

●1日、省公安庁が上記視察・座談会を行い、広東・香港・マカオ・ベイエリア建設に関する中央の政策決定・手配、同ベイエリア建設に関する省党委員会・省政府の計画・任務・要求を貫徹・実行し、公安機関が同ベイエリアの建設に参加・奉仕・サポートするための具体的な措置について検討。李春生・副省長兼公安庁長は、関連政策や措置を積極的に追求・刷新し、同ベイエリアの建設に最大限奉仕していくよう要求（9月2日付『広州日報』）。

## II. 広州市

### 1. 温国輝・市長が李毅中・中国工業経済連合会会長ら来賓と懇談

●27日午前、温国輝・市長が国際ロボット・スマート設備・製造技術展覧会に出席した来賓（李毅中・中国工業経済連合会会長、徐建・中国機械工業集团有限公司総経理、趙明生・元機械工業部副部長、銭明華・工業・情報化部設備工業司副巡視員、中国工程院のフェロー、ロシア・カナダ・NZ・米MIT科学アカデミーの各フェロー等）と懇談し、次のように述べた。各機関・起業・専門家の皆さんには、これまでどおり広州の工業発展をサポートし、交流・協力を深め、積極的に提言・献策を行なっていただきたい（8月28日付『広州日報』）。

### 2. 中国国際貿易促進委員会南沙サービスセンターが設立

●28日、広東自貿区南沙エリアで上記サービスセンターのプレート除幕式が行われ、盧鵬・中国国際貿易促進委員会副会長、陳雲賢・省政府党組織メンバーが出席するとともに講話を行なった。同サービスセンターは同エリア内の企業の実際的なニーズに基づき、狙いを定めた計画・設計・制度の策定を提供するプロジェクトであり、各企業の「海外進出」が順調に進められるようサポートしていく（8月29日付『広州日報』）。

### 3. 各市党・政府代表団が広州市を訪問

●29日～30日、趙一徳・杭州市党書記、于躍敏・杭州市人代主任率いる杭州市党・政府代表団が広州市を訪れ、任学鋒・市党書記が一行と座談会を開催するとともに視察に同行。陳建華・広州市人代主任、劉悦倫・広州市政協主席も座談会に出席（8月31日付『広州日報』）。

●9月1日、呂業昇・東莞市党書記、梁維東・東莞市長率いる東莞市党・政府代表団が広州市を訪れ、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が一行と座談会を開催（9月2日付『広州日報』）。

### 4. 任学鋒・市党書記が公安システムの業務状況を視察

●8月31日、任学鋒・市党書記が公安システム（ネットワーク及び現場のパトロール、地下鉄五羊邨駅の連携対策、刑事事件への科学技術の応用、テロ発生時の警察の出勤に対する評価、電子機器等を用いた警報・行動指揮、公共の安全・管理のためのスマート監視モニター等）の業務状況を視察。第一線で職務を遂行する公安・警察幹部と面会し意見交換を行うとともに座談会を開催し、市全体の公安業務に関する報告を聴取し、次の業務を検討・手配（9月1日付『広州日報』）。

### 5. 広州市代表団がスウェーデン、フィンランド、スイスを訪問

●8月31日～9月9日、王東・副市長率いる6人の広州市代表団が上記3か国を訪問した。この度の訪問の目的は同市と3か国の友好都市間で科学技術イノベーション、観光等の分野における協力・交流をいっそう強化し深めることであり、同市は広州国際友好都市文化・芸術団を構成し、初の対外文化交流を繰り広げた（9月1日付『広州日報』）。

## III. 深圳市

### 1. 李広鎮・元市人代主任の告別式

●27日午前、23日に亡くなった李広鎮・元市人代主任（享年82歳）の告別式が執り行われ、習近平・総書記が遺族に対し、哀悼の意を表した。更に劉雲山、張高麗、趙楽際、胡春華、李鵬、田紀雲、葉選平、李鴻忠、馬興瑞、王栄、許勤、斉心（習仲勳夫人）、王偉中、陳如桂、李灝、黄麗満、厲有為、劉玉浦、鄭良玉、于幼軍等同志各位、中央組織部、省党委員会、省人代等の各機関も様々な形で哀悼の意を表するとともに、遺族に対し哀悼の意を表した（8月28日付『深圳特区報』）。

### 2. 王偉中・市党書記、市幹部による海外賓客との会談

●28日、林潔・市統一戦線部長が米UCバークレー校の敷地内にあるローレンス・バークレー国立研究所の任暉・教授一行と会談（8月29日付『深圳特区報』）。

●30日午前、王偉中・市党書記が孫正義ソフトバンクCEO一行と会談。IC分野において世界一流の知的財産権を開発し、サービス・プラットフォームの構築を加速させていく。艾学峰・副市長、方風雷・厚朴投資董事長等も同席（8月31日付『深圳特区報』）。

●30日午前、王偉中・市党書記が曾順福・デロイト中国CEO一行と会談（8月31日付『深圳特区報』）。

※デロイト・アクセス・エコミクス：豪州のコンサルタント会社。

### 3. キャリー・ラム香港行政長官一行が深圳市を訪問

●8月31日、キャリー・ラム香港行政長官が就任後初めて深圳市を訪れ、王偉中・市党書記が一行と会談し、双方は前海・深圳・香港現代サービス協力区のイベントに出席するとともに、同市企業の発展、両地域の協力によるイノベーション・起業の進捗状況を視察した（9月1日付『深圳特区報』）。

### 4. BYDのモノレールが銀川市で正式に運行開始

●8月31日、BYDが自主開発したモノレールが寧夏回族自治区銀川市で正式に運行を開始した。王伝福・BYD董事長は次のように述べた。銀川市は「一帯一路」建設の重要な結節点となる都市であり、この度の運行開始により、各都市におけるモノレール・プロジェクトのベンチマークが築かれ、グローバルな未来都市を高度化させていく上で、技術革新を応用することが都市の渋滞問題を解決するのに非常に効果的であることが示されたといえる。BYDはこのモノレールの自主開発を発表後、銀川市、桂林市、汕頭市、広安市をはじめ10以上の都市で戦略的協力をしている他、海外の多くの都市へ納入する青写真を描いている。現在、BYDはフィリピン・イロイロ市と正式に協定を結び、2019年には20kmを超える長距離モノレールを完成させる予定である（9月1日付『深圳特区報』）。

### 5. 全国医療共同事業体<sup>コンソーシアム</sup>プロモーションの開催

●9月1日、国家衛生・計画出産委員会、國務院医療改革弁公室が上記プロモーションを開催。党中央・國務院の政策決定・手配を深く貫徹・実行し、全国医療共同事業体の構築に関する業務が得た進展と成果について総括。深圳市羅湖区等の地域における効果的な方法やモデルケースに学び、それを拡大させ、同業務を更に推進した。李斌・國務院医療改革指導グループ副リーダーが会議に出席するとともに講話を行なった。王賀勝・國務院医療改革弁公室主任が会議を主宰、王偉中・市党書記、鄧海光・副省長、陳如桂・市長等も会議に出席（9月2日付『深圳特区報』）。

### 6. 王偉中・市党書記、陳如桂・市長が申長雨・国家知的財産権局長一行と会談

●2日、王偉中・市党書記、陳如桂・市長が、深圳市を視察に訪れた申長雨・国家知的財産権局長一行と会談。双方は同市を知的財産権に強い国を建設する上で重要な戦略的軸足としていくことで合意（9月3日付『深圳特区報』）。